

投票する若者育てる好機



中学3年生の授業で知事選に触れた山崎教諭。生徒を前に「4年後、投票に行く？」と問いかけた。7日午後、宇都宮東高付属中

「熱量は低下」の声も

2024とちぎ知事選

「17日は何が行われる日か分かりますか」

7日午後、宇都宮東高付属中の3年生の教室。社会科学の授業で山崎浩之教諭(49)が生徒に投げかけた。地方自治を学ぶ授業とあつて、生徒たちは「知事選」と即答。山崎教諭は投票を促す県選挙管理委員会の啓発チラシや新聞報道を紹介した。最後に、知事の任期を4年と説明した上で問いかけた。「4年後は皆さんも有権者。選挙があつたら

知事選での年齢階層別推計投票率(男女平均)

	2012年	2016年	2020年
18～19歳	—	23.81	32.65
20～24歳	17.15	15.39	19.69
全体	33.64	33.27	38.73

※数字は%。県選管提供

行きますか」18歳選挙権の導入を機に県内の中学・高校では、本物の投票箱を用いた模擬投票や政策比較などの主権者教育が広がった。ただ数年が経過し、取り組みの下火を懸念する声もある。県内の50代の男性高校教諭は「(導入当時は)学校全体で機運が高まったが、

中高、主権者教育に注力

17日投票の知事選は、選挙権年齢が「18歳以上」に引き下げられてから3回目の選挙となる。2016年の引き下げ当初、県内の中学・高校では、選挙や政治への関心を高めてもらう「主権者教育」が盛んに行われた。今回も学校現場では好機と捉え、授業で知事選を取り上げる動きがある一方、「熱量は低下している」との声も聞かれる。若者の投票率アップに向け、識者は「学校だけでなく、家庭や会社で政治の話をする雰囲気づくりが大切」としている。(柳木澤良太)

高校生向け
年組

今は地歴・公民科や社会科の教諭以外が主権者教育に触れることはほとんどないのではないかとほす。

県選管は2019年度、県内の高校など28校で選挙

関連の出席講座を行った。新型コロナウィルス禍に伴い、20年は高校11校だった。21・23年は高校20校弱で推移。24年度は9月末までで高校4校にとどまっている。

担当者「18歳選挙権になった16年に比べ依頼は減った。コロナの影響も大きい」と漏らす。

授業で知事選を取り扱った山崎教諭は「18歳から主権者教育をするのでは遅い。小中学生から少しずつ授業で触れることで関心は高まる」と考えている。

一方、総務省の主権者教育アドバイザーを務める作新学院大の木村直人特任教授(70)は、高校などで主権者教育は定着してきたとみる。人権教育、防災教育、環境教育。〇〇教育と名の付くものは多く「主体的に情報を集め、自ら考えて行動する点は共通する」と一定の効果は指摘する。一方、投票率は10代よりも20代前半で下がる傾向がある。「まずは大人が政治の話を家庭や会社で話すことが大切」と強調した。

設問

【1】記事に照らして、栃木県知事選での年齢階層別推計投票率について、正誤を○×で解答してください。

- ①18～19歳も20～24歳も2012年以降、一貫して投票率は増加している
- ②18～19歳も20～24歳も2012年以降、一貫して全体の投票率よりも低い
- ③18～19歳の方が20～24歳よりも2016年以降は投票率が高い
- ④18～19歳も20～24歳も2012年以降、1.5倍以上投票率が増加した

【2】下のQRコードを使用して総務省が発表している衆議院議員総選挙における年代別投票率の推移をみて、正誤を○×で解答してください。

- ①令和3年の投票率が最も高いのは60歳代である
- ②昭和42年から令和3年までは、20歳代の投票率が50%を超えたことは一度もない
- ③昭和42年から令和3年までの衆議院選挙において、全体の投票率は50%を超えている
- ④10歳代の投票率は開始以来20歳代を下回ったことがない

【3】問1の解答を踏まえて、20歳代の投票率が低いことの原因としてどのようなことが考えられるか。下の語句を用いて50字程度で答えてください。
「進学」「転居」

【4】問2の解答を踏まえて、年配者の投票率が高く、若者の投票率が低いと懸念されることはどのようなことがありますか。「政策」という語を用いて50字程度で自由に論じてください。

【5】問4の懸念を踏まえて、若者の投票率を上げるために、あなたならどのような啓発活動や改革ができると思いますか。100字程度で自由に論じてください。

※参考 総務省ホームページ 衆議院議員総選挙における年代別投票率の推移

